

随意契約理由書

1 業 務 名	2023年度 海外の有料道路事業の実態及び課題に関する調査業務
2 業 者 名	日本高速道路インターナショナル（株）
3	
<p>本業務は、グローバル化が進み、カーボンニュートラル技術や、人工知能技術（AIの発展が目覚ましい世界の状況を集約するとともに、維持管理の本格化が進むASEAN諸国のメンテナンスの動向・導入技術に関する事例を収集することで、我々阪神高速道路の維持管理能力の高度化や 効率化、環境負荷の低減 をより推進するための材料として取りまとめ、経営計画の達成や「阪神高速グループビジョン2030」の実現の可能性をより高めていくことを目的とするものである。本業務における調査項目は、海外で事例が進行している「運営・維持管理に注目したカーボンニュートラル 技術の調査」、「AIを活用した維持管理及びその運用に関する事例調査」、そして「ASEAN諸国における道路運営・維持管理に関する事例調査」とする。</p> <p>本業務の円滑かつ効率的な実施のためには、日本の高速道路会社の制度・維持管理技術・ノウハウに精通していること、当社の意図を的確に汲み取れる体制が必要である。また、海外における道路事業制度、環境への配慮、そして道路及び構造物の建設や改築・更新の実態について、高い情報収集力を有していることが必要である。</p> <p>日本高速道路インターナショナル（株）は、国際社会・経済の持続的発展・成長に寄与することを目的として、高速道路事業の技術及びノウハウを集約し、国際社会において高水準で効率的な高速道路事業を提供するために、高速道路各社が出資し設立した会社である。同社は 先進国、ASEAN諸国を含む新興国の双方の海外道路PPP事業に実際に出資、あるいは参画を企図し、新興国の有料道路インフラ・アセットの運営・維持 管理に直接かかわっていることから、現場で 導入されている技術に関する豊富な知識・経験を有している。</p> <p>また、これまでの業務遂行を通じて得られた、国内外の道路関係機関に対する情報収集網及び協力体制を保有している。</p> <p>さらに、日本の高速道路会社の制度・技術・ノウハウにも精通しており、当社の意図を的確かつ迅速に反映して業務を行うことができると言える。</p> <p>よって、他よりも本業務を適切かつ効率的に実施できるものと考えられるため、阪神高速道路株式会社契約規程第2条第1号に基づき随意契約するものである。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
阪神高速道路株式会社契約規程第2条第1号の規定による。	